2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	臨床工学技士専攻科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	臨床薬理学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30　(2)　時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	通年	教室名	
担 当 教 員	北野　富美雄	実務経験とその関連資格	八尾徳洲会総合病院に薬剤師として勤務。業務は調剤(入院・外来)、服薬指導(入院・外来)　薬品管理 薬品情報提供　新薬治験・研究　製剤(院内薬品)　医薬品の再評価・審査などに従事			

《授業科目における学習内容》

臨床工学技士に関連性があり、日常でよく使用される薬剤(　呼吸　循環　降圧剤　血糖降下剤　強心剤　救急薬品　気管支拡張剤　抗凝固剤　手術　麻酔薬　麻薬　筋弛緩剤　抗生物質　向精神薬など)の使用法、副作用　注意点　使用禁忌などを学ぶことにより、必要な薬物を正しく理解できる。国家試験に出題されているので、国家資格取得に寄与できる。

《成績評価の方法と基準》

本試験(記述形式)　70%　　出席点　　20%　　授業態度　10%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

わかりやすい薬理学　第3版　編集　安原一　小口勝司　　発行所　NOUVELLE　HIROKAWA
臨床工学技士国家試験問題

《授業外における学習方法》

講義の前後につながりがあるので、前回の練習問題を確認してほしい。次回にするところを予習してほしい。

《履修に当たっての留意点》

わからないところがあれば、遠慮なく質問してほしい

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	虚血性心疾患　　狭心症　心筋梗塞の薬物療法が理解できる	教科書　配布プリント	虚血性心疾患の予習
		各コマにおける授業予定	虚血性心疾患の成因　狭心症治療薬　ニトログリセリン舌下錠　βブロッカー　カルシウム拮抗剤　心筋梗塞　モルヒネ　t－PA　血栓溶解剤　注意点　使用法、副作用について学ぶ		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	心不全　急性　慢性　　薬物療法が理解できる	教科書　配布プリント	虚血性心疾患の復習と心不全の予習
		各コマにおける授業予定	急性心不全の薬物療法　強心剤　ドパミン　ドブタミン　利尿剤　フロセミド　血管拡張剤　ニトログリセリン　　慢性心不全の薬物療法　強心剤　ジキタリス　ACE阻害剤　ARB　利尿剤　使用法　副作用を学ぶ		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	手術Ⅰ　　麻酔　全身麻酔　局所麻酔の薬物が理解できる	教科書　配布プリント	心不全の復習と麻酔の予習
		各コマにおける授業予定	吸入麻酔　亜酸化窒素　セボフルラン　静脈麻酔　プロポフォール　チオペンタール　局所麻酔　リドカイン　オキシブプロカイン　プロカイン　コカインについての使用法　副作用　注意点を学ぶ		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	手術Ⅱ　　筋弛緩剤　抗コリン剤　抗不安剤　が理解できる	教科書　配布プリント	麻酔の復習と筋弛緩、抗コリン剤の予習
		各コマにおける授業予定	末梢性筋弛緩剤　ベクロニウム　スキサメトニウム(サクシニルコリン)　抗コリン剤　アトロピン　抗不安剤　ミタジラム　ジアゼパム　使用法　副作用　注意点を学ぶ		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活習慣病　高血圧　降圧剤が理解できる	教科書　配布プリント	筋弛緩　抗コリンの復習と降圧剤の予習
		各コマにおける授業予定	利尿剤　ヒドロクロロチアジド　　β遮断剤　プロプラノロール　カルシウム拮抗剤　ニフェジン　　ACE阻害剤　カプトプリル　ARB　ロサルタン　バルタルタン　使用法　副作用　注意点を学ぶ		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活習慣病　脂質異常症　糖尿病　治療薬が理解できる	教科書　配布プリント	降圧剤の復習と脂質異常症。糖尿病治療薬の予習
		各コマにおける授業予定	脂質異常治療薬　スタチン系　フィブラート系　糖尿病治療薬　インスリン注射　血糖降下剤　SU剤　インクレチン関連薬　アカルボースなどについて学ぶ		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	麻薬　向精神薬の使用法　副作用。 薬物依存症が理解できる	教科書　配布プリント	脂質異常症。糖尿病治療薬の復習と麻薬、向精神薬の予習
		各コマにおける授業予定	麻薬　向精神薬の使用法　副作用。 薬物中毒　麻薬　覚醒剤　大麻　などの薬物依存症とは　薬物依存症の治療について学ぶ		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	NSAIDs　ステロイド　抗炎症剤が理解できる	教科書　配布プリント	麻薬　薬物依存症の復習とNSAIDs、ステロイドの予習
		各コマにおける授業予定	NSAIDs　アスピリン　インドメタシン　ステロイド　プレドニゾロン　ベタメタゾン　ステロイドの副作用　精神変調　消化性潰瘍　感染症誘発　糖尿病誘発　離脱症候群　について学ぶ		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	気管支喘息治療薬が理解できる	教科書　配布プリント	NSAIDs、ステロイドの復習と気管支喘息治療薬の予習
		各コマにおける授業予定	ステロイド剤(吸入　注射　経口　)気管支拡張剤　β2刺激剤(サルブタモール　サルメテロール　)　テオフィリン　抗コリン剤について使用法　副作用　注意点を学ぶ		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	救急医薬品が理解できる	教科書　配布プリント	気管支喘息治療薬の復習と救急医薬品の予習
		各コマにおける授業予定	麻薬　モルヒネ　ペチジン　フェンタニル　非麻薬　ペンタゾシン　ブプレノルフィン　救急医薬品について使用法　副作用　注意点を学ぶ		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	腎疾患　慢性腎不全治療薬が理解できる	教科書　配布プリント	向精神薬の復習と慢性腎不全治療薬の予習
		各コマにおける授業予定	慢性腎不全治療薬　降圧剤　リン吸着剤、カルシウム　VD3　エリスロポエチン　クレメジン　炭酸水素ナトリウム　利尿剤　K吸着剤　陽イオン交換樹脂についての使用法　副作用を学ぶ		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	血液疾患　貧血治療薬　抗凝血薬が理解できる	教科書　配布プリント	慢性腎不全治療薬の復習と血液疾患の予習
		各コマにおける授業予定	抗凝血薬　ヘパリン　ワルファリン　抗血小板薬　アスピリン　チクロピジン　クエン酸ナトリウム　貧血治療薬　鉄製剤　シアノコバラミンについての使用法　副作用　注意点を学ぶ		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	抗生物質が理解できる	教科書　配布プリント	血液疾患の復習と抗生物質の予習
		各コマにおける授業予定	生物質　抗ウイルス剤　抗真菌剤についての使用法　副作用　注意点を学ぶ		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	薬物代謝　Ⅰが理解できる	教科書　配布プリント	抗生物質の復習と薬物代謝Ⅰの予習
		各コマにおける授業予定	薬物代謝　肝臓の機能　腎臓の排泄機能　経口投与　初回通過効果　生物半減期　半減期の延長　TDM(薬物血中濃度モニタリング)　治療係数　ED50　LD50について学ぶ		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	薬物代謝　Ⅱが理解できる	教科書　配布プリント	薬物代謝Ⅰの復習と薬物代謝Ⅱの予習
		各コマにおける授業予定	薬物蛋白結合率　血液脳関門　副作用(有害作用　有害反応)　催奇形性　耐性　アレルギー体質　母乳中薬物移行について学ぶ		